



京都で開催される写真フェスティバル「KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭 2021」のプレスリリースをお送りします。貴媒体にて情報のご掲載やアーティストへの取材をご検討いただけますよう、宜しくお願ひ申し上げます。

KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭 2021

コロナ禍で KYOTOGRAPHIE を開催する意義について

コラボレーションのご案内

「KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭」は、第9回目となる今年度も予定通りの会期にて行うことを決定致しました。今年度は「ECHO(呼応)」をテーマに、国内外の気鋭のアーティストによるエキシビジョンを開催致します。

そして、2021年7月1日(木)から8月18日(水)までの期間、クラウドファンディングサービス「READYFOR」にて「KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭 2021」の寄附募集を行いました。KYOTOGRAPHIEにおいてクラウドファンディングへの挑戦は、昨年に続き2回目となりました。結果、733名の皆さまからの応援メッセージとご支援を頂き、目標金額1,000万円を上回る1,079万円の支援金調達に成功することが出来ました。

感染予防に最大限の注意を払い、来場者の安全を確保し安心してお楽しみいただけるよう、十分に配慮し開催いたします。

新型コロナウイルス感染予防対策実施について

国や京都府、京都市の指針等に基づき、感染症拡大防止対策を行っています。入場にあたり、マスクの着用、こまめな手洗い・消毒、体温測定、来場者同士の距離の確保のご協力をお願いいたします。体調がすぐれない方は、ご来場をお控えください。会場により入場制限や、開館時間が変更となる場合があります。詳細はオフィシャルウェブサイト、公式 SNS をご確認ください。

KYOTOGRAPHIE は、2013年の創立以来毎年欠かさず、世界が注目する京都の街を舞台に、開かれた国際的なアートフェスティバルの開催を続けて参りました。

その時々々の社会問題や環境問題からテーマを考え、いま世界で起きていることをアートを通して一人ひとりが自分の問題として認識し、社会全体で解決していくという気運を高めるためにひたすら邁進してきました。

アートには観る者の意識を広げ、新しい視点を与え、世界を少しずつでも良いほうへと変えていく力があると、KYOTOGRAPHIE は確信しています。

しかし、昨年から続く新型コロナウイルスの感染拡大は、既に1年半を超え、自由な行動の自粛を促す緊急事態宣言が繰り返し発令され、予定されていた文化的イベントは軒並み中止になり、人間的な営みを送れる日はもう二度と来ないのではないかとすら思える日々が続いています。

そんな中で、人々は分断され、オンラインでしか会うことを許されず、感覚は閉ざされ、心が疲弊してしまい、自分が自分らしくいられる何かを人々は強く求めています。

KYOTOGRAPHIE はこんな時だからこそ、私たちのようなインディペンデントのアートフェスティバルが安全に十分注意しながらでも開催するべきではないか、アートの力で人々に生きている感覚を呼び起こさせることができるのではないかと考えました。

運営チーム内でもかなり悩みましたが、もし KYOTOGRAPHIE の展示作品が、人々に新しいビジョンを与え、未来の断片を想像させ、みんなでそれを集めて形にしていくことに繋がるとしたら、その可能性に賭けようということになりました。

昨年に引き続きコロナ禍で KYOTOGRAPHIE の運営資金が逼迫し、今年もクラウドファンディングに挑戦しましたが、想像を超える多くの方々からたくさんのご支援と応援メッセージをいただきましたことを心から感謝しております。

あらためて、この KYOTOGRAPHIE は、運営スタッフと来場者の方々が一緒になって作り上げ、シェアしていくフェスティバルなんだということを実感しました。

このようなパンデミックが起こることは想像もしませんでしたが、人類は必ずこの危機を乗り越えなければならず、様々な学びと反省を得て、その後の新しい世界をポジティブに創造していかなければなりません。そのときアートが新しい世界を作り上げるための大事な要素になっていくのだと思います。

KYOTOGRAPHIE はその新しい世界のあり方を皆様と一緒に考え、協働し、実験的に作っていく場であり続けたい、そう考えています。

KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭
共同創設者 / 共同ディレクター
ルシール・レイボーズ & 仲西 祐介

ECHO

[開催概要]

名称: **KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭 2021**

(英語表記: KYOTOGRAPHIE

International Photography Festival 2021)

会期: **2021年9月18日[土] - 10月17日[日]**

主催: 一般社団法人 KYOTOGRAPHIE

共催: 京都市、京都市教育委員会

後援: 京都府

企業とのコラボレーション

KYOTOGRAPHIE は、新たな試みに挑戦する企業からのご支援を受けて、年々飛躍的な成長を遂げています。今年も企業の皆様からのご支援及びコラボレーションの実現により、あらゆる方にご堪能いただける多角的なプログラムが誕生いたしました。

MIROIRS – Manga meets CHANEL / Collaboration with 白井カイウ & 出水ぽすか presented by CHANEL NEXUS HALL supported by SHUEISHA Inc.

「週刊少年ジャンプ」(集英社刊)の人気作『約束のネバーランド』の原作者・白井カイウ & 画家・出水ぽすかと、シャネルの協業による作品がテーマの展覧会は、今回 KYOTOGRAPHIE にて京都初公開となる。シャネルというブランドからインスピレーションを受けて描き下ろされたマンガ『miroirs』が集英社ジャンプコミックスより今春刊行された。本展では、描き下ろされたマンガ作品とともに、ロベール・ド・アノー、フランク・ホーヴァット、マン・レイ、ベレニス・アボット、セシル・ビートン等、著名な写真家による



© KAIJU SHIRAI, POSUKA DEMIZU/SHUEISHA

マドモアゼル シャネルのポートレイトをはじめ、シャネルの貴重な資料も展示される。マンガ作品に込められたメッセージと、そのインスピレーション源となったシャネルの精神(スピリット)について複合的に表現された展覧会では、作者たちとシャネルとの時代を越えた出会いを追体験することができる。

デイヴィッド・シュリグリー 型破りな泡 presented by Ruinart

1729年の創業以来、伝統遺産・歴史・卓越性を広めていくコミュニケーションのひとつとして芸術を用いているメゾン ルイナール。その歴史は1896年、アール・ヌヴォーを代表するアルフォンス・ミュシャヘメゾンの広告ポスターを依頼したことから始まり、現在は、世界で活躍する現代アーティストたちと共に創造し、多くの才能を支援する取り組みを行なっている。中でも、メゾン・パトロンとして年間30を超える世界中のアートフェアにその年のコラボレーションアーティストと一緒に参加。アートシーンに欠かせないシャンパーニュとして確固たる地位を築き、世界中のアート愛好家に注目されている。KYOTOGRAPHIEの協賛としてコラボレーションアーティストの作品を展示。今年はいギリス人アーティストのデイヴィッド・シュリグリーの作品「UNCONVENTIONAL BUBBLES (型破りな泡)」を展示。メゾン ルイナールを訪ねたデイヴィッドは、鋭い視線と好奇心を持って、シャンパーニュの醸造に潜む秘密を探った。彼の作品は、シャンパーニュの原材料を育むブドウ畑とその伝統、職人技、ルイナールのシャンパーニュに命を吹き込む人々の日常の作業や習慣を、シュリグリーならではの奇抜で妥協のないユーモアを通し、興味深く表現している。また展示会場1階では、今年新発売となったサステイナブルギフトパッケージ『セカンドスキン』の限定POP-UPショップを展開。



David Shrigley, untitled, 2019

アーウィン・オラフ

アヌス ミラピリス – 驚異の年 –

presented by MATSUSHIMA

KYOTOGRAPHIEをはじめ、京都での芸術・アート活動を幅広く支援してきた株式会社マツシマホールディングスは、アーウィン・オラフの展覧会をサポート。また、同社顧客向けのKYOTOGRAPHIE展覧会ツアーや、店舗での写真ワークショップなど、写真作品の面白さを伝えるイベントをKYOTOGRAPHIE期間中に開催。

アンシエイテッドプログラム: Les Drôles by agnès b.

なら国際映画祭、映画監督・河瀬直美とのコラボレーション

supported by agnès b.

アニエスベーは、アンシエイテッドプログラム「Les Drôles by agnès b.」をBAL LAB(京都BAL 4F)において開催し、展示作品全てを収録した写真集「Les Drôles」(日本500冊限定、希少なアニエスベー本人のサイン本もあり)を販売予定。また、アニエスベーとゆかりのある映画監督・河瀬直美が今年のテーマ「ECHO」に呼応したプロデュース映像作品の上映をサポートする。

MEP Studio (ヨーロッパ写真美術館) による5人の女性アーティスト展

— フランスにおける写真と映像の新たな見地

supported by Kering's Women In Motion

本展は、ケリングの「ウーマン・イン・モーション」により支援されている。「ウーマン・イン・モーション」は、芸術や文化の分野で活躍する女性に光を当てることを目的として2015年に発足して以来、様々な芸術分野における女性の地位と評価について、考え方を変え、考察するためのプラットフォームになっている。KYOTOGRAPHIEでは、仏・MEP studio(ヨーロッパ写真美術館)による5人の女性アーティスト展をサポートする。

ECHO of 2011 – 2011年から今へエコーする5つの展示

四代田辺竹雲齋 | STAND

supported by LOEWE FOUNDATION

クラフトやレザーを軸に世界中の現代美術、工芸、文化をサポートするロエベファウンデーションは、四代田辺竹雲齋の作品に対する伝統的でありながらモダンな視座を称え、KYOTOGRAPHIEにおける同氏のインスタレーション制作をサポートする。展示会場ではロエベが制作した竹雲齋のドキュメンタリー映像も上映予定。

ンガディ・スマート | 多様な世界

supported by Cheerio Corporation Co., LTD.

2013年の東京レインボープライドに唯一の日本企業として協賛し、2015年からは毎年トップスポンサーとして支援、事業を通じて日本のダイバーシティ推進を牽引してきた株式会社チェリオコーポレーションは、アイデンティティ、人種差別、フェミニズム、ジェンダーなどに焦点を当て、多様性を表現するンガディ・スマートに共感し、本展をサポートする。展示会場には、売上の一部が日本全国のレインボープライド支援に充てられる、チェリオ「のんでCHANGE!」自動販売機を設置予定。

KYOTOGRAPHIE International Portfolio Review 2021

supported by Dyson

KYOTOGRAPHIE International Portfolio Review 2021では、Dyson Lightcycle Morph Awardを設け、時間や場所にに応じて明るさと色温度を調節できるDyson Lightcycle Morph™ ライトが受賞者に贈呈される予定。また、KYOTOGRAPHIEの各会場に、同ライトや空気清浄機能付扇風機が設置される。

※全てのプログラム内容・展覧会名・会場・スポンサーの情報は9月6日現在のもので、予告なく変更になる可能性がございます。最新情報はウェブサイトにてご確認ください。



KYOTOGRAPHIE インフォメーション ラウンジ&ブックス のリニューアルと会場変更のお知らせ

インフォメーション ラウンジ&ブックスは、KYOTOGRAPHIE コンシェルジュによる総合・周辺観光案内所です。今年度も NTT 西日本 三条コラボレーションプラザを会場とし開催を行う予定でしたが、三条両替町ビルへと会場の変更が決定致しました。会場では、パスポートチケットやカタログなど、オリジナルグッズが購入できるほか、twelvebooks との共同プロデュースによるブックラウンジ、ポップアップ・ブックストアを開催。また、ここを会場に SNS 配信のイベントも随時行う予定です。会場変更に伴い、一部の内容が変更となる場合があります。最新情報はウェブサイトをご確認ください。

パブリックプログラムについて

今年度は、河原町御池に 2020 年秋にオープンした QUESTION(クエスチョン)ほか、各会場イベントを開始します。奈良の平城遷都 1300 年目となる 2010 年から、映画監督の河瀬直美がエグゼクティブ ディレクターを務め、隔年開催をしているなら国際映画祭ともコラボレーションし、アップリンク京都での特別上映が決定しました。その他、出町座での上映など、イベントの詳細はオフィシャルウェブサイトや SNS、イベントチラシなどでご確認ください。

キッズプログラムについて

キッズプログラムでは、お子様とその家族を対象にした様々なイベントを開催します。サイアノタイプ(日光写真)や撮影体験、フォトアルバム作りなどを予定しています。また、KYOTOGRAPHIE こども写真コンクール展 2021「ECHO ~私たちとこの世界のエコーを見てみよう~」を会期中に開催。今年度のメインプログラム、リャン・インフェイによる展覧会に関連し、子どもを性暴力から守るための情報をまとめた小冊子も無料配布します。イベントの詳細やご予約は、オフィシャルウェブサイトや SNS、イベントチラシなどでご確認ください。



キッズパスポート



DELTA / KYOTOGRAPHIE Permanent Space

お問い合わせ、取材のご依頼、掲載写真のご用命は
下記までお問い合わせください。

KYOTOGRAPHIE 事務局
http://www.kyotographie.jp | Tels. 075-708-7108
〒602-0898 京都市上京区相国寺門前町 670 番地 10

須田千尋 (CHIHIRO SUDA INC) | PR ディレクター東京オフィス
chihiro@chihirosuda.com
中村 葵 | PR 京都オフィス
aoi.nakamura@kyotographie.jp

KG+ についておよび、会場変更のお知らせ

KG+ は、これから活躍が期待される写真家やキュレーターの発掘と支援を目的に、2013 年よりスタートした公募型アートフェスティバルで、2021 年に 9 回目を迎えます。京都から新たな才能を世界に送り出すことを目指し、意欲ある参加者を広く募集して展覧会を開催いたします。また、KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭との連携・同時開催を通して、KG+ 参加アーティストに、国内外のキュレーターやギャラリストとの出会いの場と情報発信の機会を提供します。尚、緊急事態宣言の影響により KG+ SELECT の会場が、元・京都市立格致小学校から三条両替町ビル内に予定の KYOTOGRAPHIE インフォメーション ラウンジ&ブックスの 2、3 階に変更になりました。



DELTA について

2020 年秋に京都・出町榎形商店街に誕生した、KYOTOGRAPHIE 初となるパーマナントスペース「DELTA / KYOTOGRAPHIE Permanent Space」(通称「DELTA」)は、KYOTOGRAPHIE が京都から発信する、ギャラリー、カフェ、宿泊施設などを併設したプロジェクトスペースです。KYOTOGRAPHIE の共同創設者/共同ディレクターのルシー ル・レイボーズと仲西祐介が立ち上げ、KYOTOGRAPHIE のクリエイティブチームが、アーティスト、デザイナ、キュレーター、国内外の文化機関などと多様性に富んだコラボレーションをしながら、意義ある様々なプロジェクトを展開していきます。カフェでは、新たなシェフ、ザック・ケルバーマンが、商店街で仕入れた食材をふんだんに使った日替わりメニューを創作します。なお KYOTOGRAPHIE 会期中は、ンガディ・スマートの展覧会「ごはんの時間ですよ」を DELTA および出町榎形商店街にて開催。商店街の様々な催しが撮られた古写真と、現代の商店街の写真をエコー(呼応)させたコラージュ作品が新たに公開です。

DELTA / KYOTOGRAPHIE Permanent Space

営業時間：9:00-21:00(L.O. FOOD 20:00/DRINK 20:30)

定休日：水・木

※営業時間は緊急事態宣言、蔓延防止措置等に応じて適宜調整となりますので、オフィシャルウェブサイトや SNS をご覧ください



KYOTOGRAPHIE

@kyotographie

@kyotographie

@KYOTOGRAPHIE_

DELTA

@delta.kyotographie

@delta.kyotographie

@deltakyo